

学校だより



稲荷台

令和5年2月28日

3月号

横浜市立稲荷台小学校

次へのステップ

校長 中山 正之

まだまだ寒い日が続いていますが、晴れた日には日差しの暖かさが感じられることもあります。そういえば、この冬は寒さが厳しかったものの、雪を見ることはほとんどありませんでした。3月を迎え、今年の桜はどの行事の頃に咲くのだろうかと気になり始めています。

2月16日、4年生の「10さいを祝う会」を行いました。保護者の皆様にもご参観いただき、楽しく充実した会となりました。当日のプログラムは、全員による「チキチキバンバン」の合奏から始まり、呼びかけ、一人一人の夢の発表、「YUME日和」の合唱と続けました。そして最後には、アンコールでもう一度合奏を披露してくれました。4年生達は成長した自分達の姿をお家の方に見てもらおうと、本当によく努力しました。この会に向けて、子ども達は今の自分達にできること、伝えたいことを考えてプログラムを計画し、練習を重ねて当日に臨みました。練習での苦労や困難を乗り越えて最後まで自分たちの力でやり遂げた今回の経験は、達成感を得るとともに、大きな自信になったはずです。学年目標である「Co10urful（カラフル）」にも表されているように、一人一人は様々な個性をもっていますが、この日はひとつにまとまって素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。「自分たちにはできる」という感覚を、高学年になる来年度にぜひ繋げてほしいと思います。

後期も終わりに近づき、学校では各学年でまとめを行う時期になっています。この一年間は、過去二年間に比べて制約が少なくなり、多くの活動を進めることができました。チャレンジクラスは「やさしさいっぱい・やるきいっぱい・ワクワクいっぱい」、1年生は「はなまるいっぱい!」、2年生は「たんぽぽ」、3年生は「トライ!」、5年生は「5年のおすしや」、そして6年生は「TEAM6年生」とそれぞれの学年目標をもち、日々の学校生活を豊かにしようと励んできました。また、子ども達の真摯な気持ちに答えようと教職員達も努力を重ねてきました。この一年で得た経験を、4年生と同様に次へのステップにしてほしいと思います。特に6年生は、卒業を控えています。2月28日に行う「成長を喜び合う会」を経て、3月に入ると卒業式の練習が始まります。「卒業まであと〇日」という言葉も聞かれるようになりました。「チーム6年生」が晴れやかな気持ちで卒業式に臨むことができるように、学校も「チーム稲荷台」として支えていきます。

最後に、令和5年度に向けた取組について触れておきたいと思います。まず、少人数教育での学習「チャレンジタイム」の名称を変更いたします。これまで個別支援級の「チャレンジクラス」と混同されることがありましたので、新しい名前にします。新名称は「イナリンタイム」です。また、前期学習評価の伝え方を見直します。これまで「あゆみ」に表記して学習や行動の様子をお知らせしてきましたが、限られた字数の中では詳しくお伝えしきれない面がありました。そこで、9月末から10月初旬にかけて三者面談を行い、前期の成果と課題をしっかりと共有し、後期に繋げていきたいと思っています。それに伴い、7月に行っていた三者面談はその時期へ移行する形となります。なお、チャレンジ級の校長面談については今年度と同様に7月に行いたいと考えています。詳細につきましては新年度の学校説明会等でお知らせいたします。

今年度も保護者の皆様、地域の皆様に支えていただきながら、「自分とみんな いいな いいな稲荷台」の学校教育目標のもと、子ども達が豊かに安心して過ごせる学校づくりを進めてまいりました。多くのご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。